

2008年2月21日

各位

国内初のGLPに準拠した核内受容体解析サービス開始のお知らせ

第一化学薬品株式会社

積水化学グループの第一化学薬品株式会社（社長：福田 睦、本社：東京都中央区、以下第一化学薬品）薬物動態研究所（茨城県東海村）は、昨年10月に株式会社エンバイオテック・ラボラトリーズ（社長：水上 春樹、東京都千代田区、TEL03-5297-7155 以下エンバイオテック）と業務提携契約を締結し、エンバイオテックが開発した「核内受容体・コファクターアッセイシステム、以下RCAS」を用い、GLPに準拠した受託解析サービスを本年1月より開始しましたのでお知らせします。

核内受容体は、その多くが生活習慣病の発症に関与しており、これらの疾病に対する治療薬の開発過程で、薬物と核内受容体の関係について検討することが必要とされていますが、GLPに準拠した受託解析を行う機関は国内にはありませんでした。

第一化学薬品薬物動態研究所では、これまでGPCRに関する受容体解析サービス（約230項目）を提供してきましたが、この核内受容体解析サービスを追加することで、顧客層を拡大し、特に生活習慣病の治療薬開発を進める医薬品メーカーからの解析委託が増加することを期待しています。

また、エンバイオテックは、1999年に創業し、環境診断事業からスタートして、2005年には創薬研究を軸とした事業部門を設立しました。「RCAS」は同社が培ってきた環境ホルモンの研究から産み出された核内受容体のための解析技術であり、医薬品・健康食品・化粧品分野における有用物質のスクリーニングやプロファイリングに有効な技術であります。エンバイオテックは本試薬をキットとして販売すると共に受託サービスも提供しています。

第一化学薬品薬物動態研究所は、エンバイオテックが現在保有する13項目の「RCAS」に加え、今後逐次拡大するすべての項目について技術導入し、国内での受託サービスを実施する計画です。なお、エンバイオテックでは主にスクリーニング・プロファイリングのnon-GLP試験について、第一化学薬品薬物動態研究所では主にGLPに準拠した試験を実施する計画です。

以上

<本件についてのお問い合わせ先>

第一化学薬品 総務人事部 総務グループ TEL03-3272-0672

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-5 KDX 日本橋 313 ビル

第一化学薬品 薬物動態研究所 研究企画部 TEL029-282-0234

adme-tox@admet.daiichichem.co.jp

〒319-1182 茨城県那珂郡東海村村松 2117